

第5回北川村保小中一体化施設整備基本計画検討委員会 議事録

開催日時	令和8年3月4日(水)18:30～20:00
開催場所	北川村民会館 大ホール(オンライン併用)
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 委員 岡宗委員、橋本委員長、山崎委員、熊瀬委員、土居委員、百々委員、井津(文)委員、田所委員、稲毛委員、井津(信)委員、有光委員 ■ アドバイザー 長岡アドバイザー、岩城アドバイザー、野島アドバイザー ■ GPMO 神原、成松、湯川、山内 ■ 事務局 濱渦教育次長、堂脇次長補佐、堅田次長補佐、植田主任主事
議題	<p>(1)開会 (2)前回内容の確認について (3)1/19～20ワークショップで頂いた御意見について (4)北川小中学校耐力度調査の概要・結果について (5)北川村の新しい学び舎の配置・ゾーニング(案)について (6)その他進捗報告 (7)次回の検討委員会について</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・議事次第 ・資料1 第4回北川村保小中一体化施設整備基本計画検討委員会議事録 ・資料2 新しい学び舎づくりワークショップで頂いた主な御意見 ・補足資料1 小学1・2年生ワークショップの結果 ・補足資料2 小学3～6年生ワークショップの結果 ・補足資料3 中学1・2年生ワークショップの結果 ・資料3 北川小中学校耐力度調査の概要・結果 ・資料4 北川村の新しい学び舎の配置・ゾーニング(案) ・参考資料1 保育・教育施設の現況(図面) ・参考資料2 北川村保小中一体化施設整備基本計画 目次・論点 ・参考資料3 北川村保小中一体化施設整備基本計画 検討スケジュール
議事経過	<p>(1)開会 【事務局】 議事次第に沿って会議を進行する旨を説明。</p>
議事経過	<p>(2)前回内容の確認について 【事務局】 【資料1】に基づき説明。 委員に対し自身の発言内容の確認と追記・修正があれば申し出るよう依頼。 →特に異論がなかったため、【資料1】を概要としてホームページに掲載する旨報告。</p>

議事経過	<p>(3)1/19～20ワークショップで頂いた御意見について</p> <p>【GPMO】</p> <p>【資料2】に基づき、1/19～20の児童生徒向け「新しい学び舎づくりワークショップ」の開催状況及び、主なご意見をカテゴリー別に報告。</p>
------	--

議事経過	<p>(4)北川小中学校耐力度調査の概要・結果について</p> <p>【事務局】</p> <p>【資料3】に基づき、北川小中学校耐力度調査の概要と結果について説明。</p> <p>耐力度調査について、以下の質問があった。</p> <p>【土居委員】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 耐力度調査では保育所がなかったが、保育所は問題ないのか。 ② いずれも4500点を超えていたのであれば、補助対象とはならないのか。 ③ 今回は、費用感を考えながら案を考えていくのか、予算は無視して夢を描いていくのか、方針をお伺いしたい。 <p>【事務局】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 耐力度調査の趣旨は、学校の改築に対する補助金が出るかどうかを判断するためであり、補助対象でない保育所については今回対象外とした。ただし、安全性はまた別の観点であり、その点は保小中を含め、平成18年から20年にかけて耐震診断を行い耐震補強を行っているため、安全性は既に担保されていると考えている。 ② 学校に対する国の補助金には、新築・増築に対する負担金事業と、改築・改修に対する交付金事業の2つがあり、そのうち、改築については、耐力度調査の結果から基本的に出ないが、今回のような小中統合に係る改修は補助対象となる。このほか、地域共創空間については、地方創生に資するものであれば国からの補助が受けられる可能性がある。 ③ 予算については当然大事であり、補助がなるべく受けられるよう組み立てたい。本日は、既存の校舎をできる限り使うことを前提に議論いただき、本日の議論を踏まえ、事務局の方で予算も加味した案を次回の検討委員会にて示せるようにしたい。
------	---

議事経過	<p>(5)北川村の新しい学び舎の配置・ゾーニング(案)について</p> <p>【GPMO】</p> <p>【資料4】に基づき、目標、配置の現状・課題、Case1～3の配置案について説明。</p> <p>配置について、以下の質問があった。</p> <p>【井津(信)委員】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保育所・小中学校のプールは一つで賄うということか。 ② 給食調理場はどの位置に設置することを想定しているか。 <p>【GPMO】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 深さ等の問題も考慮しながら、小学生も中学生も使えるようにしたい。ただ、保育所のプールは共用が難しい。それほど大きなものではないので、別途構えたい。 ② (保小中の交流という観点からは)保小中のいずれからも近いところに設置したい。ただ、車での搬入動線などを考慮する必要がある。いずれにせよ、図中の緑色又はオレンジ色のいずれかになると思われるが、今後、具体的な運用を踏まえ、総
------	---

合的に判断したい。

上記を踏まえ、GPMO進行の下、Case1～3をベースに意見交換を実施。

・Case1

小学校を中学校校舎に集約し、小学校校舎の一部を保育所に転用する案

・Case2

小学校を中学校校舎に集約し、新築の保育所を既存校舎と接続する案

・Case3

小学校を中学校校舎に集約し、新築の地域共創空間を既存校舎と接続する案

【グループ1】熊瀬委員(発表者)、稲毛委員、井津(信)委員、岩城AD

(発表+紙面等の情報を基に整理)

・Case2が「保小中一体化」という視点や「地域との交流・連携(共創)」の視点でベター。

・配置がまとまっている点や、地域共創空間・保育所とそれぞれの駐車場の距離が近い点が良い。

・ただ、学校グラウンドがこれ以上狭くなるのは困るので、まず、北側の駐車場の駐車台数がどの程度必要なかを検討し、グラウンドを北側に広げることを検討すべき。

・村民グラウンドを児童が使用する場合、学校から死角になるので、見守りカメラの設置などの何らかの対策が必要。

・村民グラウンド自体も水捌けが悪いので、入替えが必要ではないか。

・南側の駐車場は、入り口が児童と鉢合わせになるので、迂回させる方法を検討する方が良い。

【グループ2】橋本委員長(発表者)、山崎委員、井津(文)委員、有光委員、長岡AD

(発表+紙面等の情報を基に整理)

・保小中の子どもたちが有機的な連携を生み出せるよう配置することが必要。

・「子どものため」だけでなく、村民自身も行きたくなくなるような空間とすることが重要。

・どれが良案という答えは出なかったが、「保小中一体化」を実現するならばCase2のように保小が同じ建物の方が行き来しやすく、交流が進むのではないかと。一方で、保育所も、学校も、色んな特性の子どもがいるため、周りがザワザワしていない方がよいことからすると、同じ建物だと音が気にならないか。

・プロムナード上に車が通るのは危険であるため、車の入り口を村民グラウンドの南西とするなど、駐車場の動線は工夫すべき。

【グループ3】岡宗委員(発表者)、土居委員、百々委員、田所委員、野島AD

(発表+紙面等の情報を基に整理)

・Case2がベターということでCase2を中心に議論。

・敷地全体を有効活用するために敷地中央の水路をなくすことはできないか。

・水路と同様に、敷地中央の道路を車両通行禁止とすることはできないか。廃道できれば、体育館への連絡通路を作る必要がなくなる。仮に水路をなくせなくても、地上での接続が可能となる。

・園舎・校舎をサークル状にすれば両側の眺望が見え、園庭・校庭や地域共創空間とのまとまり・広がりが出てくるのではないかと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・学校グラウンドが狭くなってしまうので、北側の駐車場方向へグラウンドを広げるべき。 ・学校グラウンド、村民グラウンドに加え、中央部に3つ目のスペースが生まれる。このスペースは、職員室・保育所・地域住民のいずれからも見渡せる位置となるので、様々なイベントに活用できるのではないかと。 ・給食調理場はどの位置がよいか。保育所と兼ねるには保育所棟に置くのがよいのではないかと(サービス車両の動線は要検討。)。一方で、西側の増築棟に配置することも考えられるが、この場合、保育所への運搬動線を検討する必要がある。 ・南側の駐車場への車路は体育館の南側からとることが考えられるのではないかと。 ・今の体育館横の駐車場は、安全性に加え、教室の目の前に車が並ぶ眺めは良いものと言いきにくいので、駐輪場にしてはどうか。
--	--

議事経過	<p>(6)その他進捗報告 【事務局】 3月9日(月)に保護者との意見交換会を開催予定。次回の検討委員会にて報告したい。</p>
------	---

議事経過	<p>(7)次回の検討委員会について 【事務局】 次回(第6回)は3月18日(水)18時30分～北川村民会館大ホールで開催予定。また、最終回(第7回)は4月15日(水)18時30分～北川村民会館大ホールで開催予定。</p>
------	--